

## 甲斐市教育委員会第9回定例会議事録

- 1 日 時 平成 28 年 12 月 28 日 (水) 午前 9 時 30 分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館 2 階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午前 9 時 30 分
- 4 出席者 **【教育長】** 西山豊教育長  
**【委 員】** 長田明美職務代理者、新海宏子委員  
柳本博美委員、中込正久委員  
**【説明員】** 生山勝教育部長、望月映樹教育総務課長  
内藤和彦学校教育課長、保坂江里生涯学習文化課長  
梅原剛スポーツ振興課長、剣持豊彦図書館長  
坂本公彦学校教育指導監、日本修学事係長  
久保欽一教育総務係長、河野晴美教育総務係員
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 なし
- 7 前回議事録の承認 平成 28 年度 第 8 回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題  
第 1 号 平成 28 年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について
- 10 その他
  - (1) 平成 28 年度末 (県費教職員) 人事異動の予定について
  - (2) 平成 28 年 12 月甲斐市定例議会教育委員会関係代表・一般質問について
  - (3) 平成 29 年成人式について
  - (4) 甲斐市小中学校音楽祭について
  - (5) 市指定文化財所在場所変更について
  - (6) 1 月の行事予定について
- 11 閉 会 午前 11 時 5 分

○開 会

事務局

開会を宣する。

○あいさつ

委 員

改めまして、おはようございます。

やはり冬至を過ぎると日の出の時間はかわりませんが、日の入りが少しずつ遅くなってきたなど感じ、春に向けてうれしい兆しをこの時期感じます。

私が今日お話ししたいのは、不登校のことです。

私が不登校生を対象にしたオークルームの担当になって6年たちます。

最初は、生涯学習文化課が担当でスタートしましたが、甲斐市が不登校対策に関してはさきがけでした。他の市町村をモデルにしてとか、先例があったら参考にしようと思いましたがありませんでした。韮崎のコスモスの教室に見学に行きましたが、規模的にも内容的にも少し違うので、独特なものを考えてみようということになりました。その時は火曜から金曜までの午前中に開校して、スタッフも曜日ごとに1人ずつ担当しました。主に退職した教員がスタッフになりました。とにかく、安心して通ってこれる居場所づくりを念頭にやってみようということで始めました。

通ってくる生徒の状況もいろいろでした。昼夜逆転して、毎朝来るのか確認するところから始まる生徒もいましたし、小学校から不登校で、小学校レベルの学習からスタートしないと全く分からない子どももいました。学習へのモチベーションとか家庭の状況とか生活レベルがバラバラの子どもたちが通ってきました。ですから最初は料理教室で料理を作ったり、ピアノが弾きたいという子どもがいれば公民館のピアノを弾かせてもらったり、県立博物館に見学に行ったりしました。そんなふうに体験的な活動を取り入れながら進めていって、軌道に乗ってきたなど思ったときに、学校に復帰させるのだから、学校のまねごとみたいなシステムにしてみようかということで、時間割を用意したり、50分と区切りを持たせてやらせてみたりしましたが、やはりそれはだめでした。生徒の実態がいろいろでしたので断念しました。とにかく子どもがやりたいことをやらせようということで、見守ったり、質問してきたことには支援をしたり、雑談の中で子どもたちの気持ちを吐露させたり、何に困

っているのか、何を必要としているのか、一人ひとり対話する中で聞き取って、4人のスタッフで情報を共有して対応にあたっていました。

つい最近、教育機会確保法が成立したという話を聞きました。自治体にもいろいろな措置を講ずるよとということ、いくつかの観点が示されたと思うのですが、甲斐市はそれなりに措置を講じているなど、甲斐市は進んでいると安心しました。

そのタイミングで偶然ですけど担当者会議を開きました。竜王の教室の担当者と教育委員会と学校の不登校の担当の先生で、一人ひとりの子どもについてどんな状況か、これからどうしていこうかという話をしました。今通ってきている子どもは、よく勉強をします。3時間休まずにします。登録は3、4人いると思いますが、常時通ってきているのは2人です。こんなに一生懸命出来ているのだから、学校に復帰できるだろうと思って、ついつい復帰するような刺激的な言葉をかけてみたり、進路はなんていう話題にも触れてみたりしますが、やはり子どもたちはその部分になると少しナーバスになって、あまり触れてほしくないような反応を示しますので、対応に気を付けようとスタッフは感じています。

とにかく子どもたちは、学校に行けないことで自己否定感を持っていますから、学力もコミュニケーション能力もそういう場面で困らないように自信をつけて学校に復帰させてあげたいといつも思っています。難しいことはできませんけど、それくらいのことならお手伝いできるかなと思っています。

今、新聞とかでも取り上げられていますけど、不登校の子どもたちがそのままひきこもりの人生にならないように、自信をもって自立した社会人になってほしいと願っています。

復帰のプログラム作りといってもなかなか難しく、私たちスタッフだけではできません。やはり行政、学校、地域の人たちが一体となって取り組まないと子どもたちを救えないのではないかなと、日々難しさを感じていますが、やりがいも感じている、そんなオークルームの状況です。

今年最後の定例会です。来年が良い年になりますように願いをこめて今日の会を開きたいと思います。

## ○教育長報告

教育長

今月もお忙しいところ、ご参会いただきましてありがとうございます。

12月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照いただきたいと思います。主なものにつきましてご報告申し上げます。

まず、2日の夜に、市PTA連絡協議会の情報交換会が行われ、教育委員会からも3名参加しました。この会の目的は各単位PTAの特色ある行事や活動、PTA新聞などをお互いに発表しあい、今後の活動に活かそうというものです。運動会の保護者の場所取りを抽選で行った報告や、体育着バザーや競歩大会への協力、コミュニティースクールへの取り組みなどたくさんの意見が出され、大変有効な話し合いの場となりました。

7日には、市議会の12月定例会が開会され、報告案件、補正予算など一般議案などが提案されました。これらの案件につきましては、8日から9日に開催されました各常任委員会での審議を経まして、13日の本会議で可決されております。

また、代表質問は、13日と14日に行われ、一般質問は、14日、15日、16日に行われました。教育委員会に関するものにつきまして、後ほど部長の方からご報告いたします。

8日10時より、平成28年度末人事異動説明会が中巨摩教育会館で行われました。中北教育事務所長の話の後、管理主事より転退希望調の作成や今後の人事異動作業日程などについて説明がありました。1月に入ると慌ただしくなりそうです。

13日夜7時より県一周駅伝甲斐市結団式が敷島総合文化会館で行われました。今年度は第53回で、甲斐市はA・Bチームの参加で、全18チームで競います。去年はAチームが2位、Bチームが7位と頑張ったので結団式では気合が入りました。市長の3・3・7拍子の応援に選手や関係者の皆さんも感動していました。健闘を祈りたいです。

17日午後5時から、甲斐北ライオンズクリスマス例会に参加しました。他人の子もほめて叱る運動などを展開し、青少年の健全育成に取り組んで頂いたり、社会福祉協議会に寄付を頂いたり、その活動に感謝いたしました。甲斐混声合唱団の演奏やカラオケの歌声に楽しいひと時を過ごしました。

18日、県一周駅伝大会の選手が甲斐市内を通過するとのことで、私は

中継点である山梨交通の敷島バス停で教育委員さんと一緒に甲斐市の選手の激励と声援をおくりました。Aチームは前日3位で終えておりましたので、挽回の期待をもって待ち受けておりましたが、結果は、Aチームは3位、Bチームは12位でした。選手の皆さん、スタッフの皆さんお疲れ様でした。来年に向けて、より強力なチームをつくって、悲願の初優勝を目指していただきたいと思います。

20日10時には、第3回保健福祉推進協議会が北部公民館で開かれました。福祉部と子育て健康部の各計画策定についてと在宅介護の調査についての話し合いでした。

22日には、峡中広域シルバー人材センターの関係者がお見えになりまして、「交通安全・横断旗」を寄贈していただきました。

シルバー人材センターが行っております「コスモス花見会」の売上金を、児童の教育活動への一環にということで、集団登校などで児童や保護者が持つ横断旗として寄付していただいているものです。平成22年度から続いておまして、7回目となりますが、今回は40本頂きました。順次、各小学校へ配布いたします。

26日午後1時半から、甲府地区広域事務組合の議会に出席しました。議会終了後教育委員会が行われました。

27日午後から甲斐市の校長・教頭等採用昇任受検者の面接指導を行いました。今年度は甲斐市の校長会と協力して行いました。各受検者とも努力の姿が見られました。一人でも多く希望がかなうよう願っています。

本日28日に第9回定例教育委員会が行われております。

主なところは以上であります。今年も残すところ3日ほどとなりました。

委員の皆様方には、色々な面でお力添えをいただきまして、改めて感謝申し上げます。私からの報告とさせていただきます。ありがとうございました。

教育長

議題第1号の審議に入ります前に、議題第1号「平成28年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」は、個人情報に関する事項が含まれます。したがって、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規定により、議題第1号を非公開とすることについてお諮りします。

非公開とすることにご異議はございませんか。

一 同 異議なし。  
教育長 ご異議がありませんので議題第1号は非公開といたします。

【ここから非公開】

○議 題

第1号 平成28年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について

教育長 1号議案は、これで終了いたします。  
非公開とした議題第1号「平成28年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

【ここから公開】

○その他

(1) 平成28年度末（県費教職員）人事異動の予定について

事務局 (資料説明)  
教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同 異議なし。

(2) 平成28年12月甲斐市定例議会教育委員会関係代表・一般質問について

事務局 (資料説明)  
教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同 異議なし。

(3) 平成29年成人式について

事務局 (資料説明)  
教育長 対象人数が814人ということですが、毎年、何人くらい出席しますか。  
事務局 昨年は対象者が884人で出席率が75.2%で665人の出席でした。今年を対象人数の8割を見込んで650人を予定しています。  
教育長 他に、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。  
一 同 異議なし。

(4) 甲斐市小中学校音楽祭について

事務局

(資料説明)

委員

小中連携ということも含めて、例えば竜王北中学校と竜王北小学校の吹奏楽部が合同で演奏するとか、敷島南小学校と敷島中学校で合同で何かをするとか、少し練習が必要となってしまいますが、そのために小学校と中学校の子どもたちが行き来をして交流をもって音楽会に参加するというスタイルも、実現するとこれも小中連携の一つとなって学校同士の交流が出来るのでこんな企画が可能になるとうれしいなと思いました。

事務局

敷島小学校の先生から提案がありまして、前回の青少年育成推進大会で合同演奏をしました。

委員

今回は、最後に全体で演奏するような企画はないですか。

事務局

はい、ないです。

教育長

小中連携ということが、今、言われていますので、そういう方向で検討してみてください。

それから他の小学校が参加できるような合唱を少しでも入れるというような場を作っていけば、参加校がもっと増えるかもしれませんね。

他に、ご意見、ご質問がありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

(5) 市指定文化財所在場所変更について

事務局

(資料説明)

委員

「壺棺」の「棺」の字は何か意味があるのですか。

事務局

「ひつぎ」ということですね。小さいですが、遺体が小さかったり、子どもだったりということだと思います。

委員

人骨がこの壺棺に入っていたのでしょうか。

事務局

中に入っていた砂の成分を調べたところ、人骨の検出がされたということですが、骨が入っていたということはないです。

委員

ではそれでだいたい、いつの時代の物かということもわかりますよね。これに入れるのには、茶毘にふしてから入れるしかないですよ。

事務局

昔の風習としては亡くなった人をそのままにしておいて、骨になってから壺に収骨するということがあったようです。

教育長

他に、ご意見、ご質問がありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

(6) 1月の行事予定について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

教育長 その他、みなさんから何かありますか。

事務局 スポーツ振興課から、2点あります。

1点目ですが、体育協会の会長が26日にお亡くなりになりました。通夜は29日18時から、告別式は30日正午から行われますのでご報告します。

2点目ですが、元旦の6時20分からドラゴンパークでラジオ体操が行われますのでよろしくお願いします。

教育長 その他、みなさんから何かありますか。

委員 いじめのことについてお聞きしたいのですが、最近また、中学生や高校生のいじめが原因の自殺などのニュースを聞きます。学校の先生に言ったけれど解決されなかった、教育委員会は知らなかったという報道を見ると心が痛むところでもあります。冬休みが終わった後にいじめが原因で不登校になってしまっ学校に出てこれないという、長い休みの後は比較的そういうことがありがちなと思います。また、震災いじめなどということも報道でありますけど、今現在、甲斐市の小中学校の中で抱えている大きな問題になりそうないじめとか、いじめの芽みみたいなものがあったら教えていただけますか。

事務局 毎月、不登校の関係の調査は行っていますが、その中で人間関係のトラブルということはありますが、いじめが原因でということは承知しておりません。休み明けはどうしても学校に行きにくいという子どももいるので、それについては毎月の調査の中で学校でも気を付けています。

それから、いじめの問題についても、毎学期調査を行っていますが、今のところ重篤な生命の危険とか、不登校になるようなすぐに対応しなければならない事案はないと認識しています。大きくなくても個人にとっては大きな問題ということもありますので、各学校では学級担任のみ

とりや調査で対応をしているところです。

非常に大きな心配事というのは今のところはないと考えております。

震災いじめについても、県からも指示がありましたので、学校へ問い合わせをしましたが、震災が原因でいじめられたという本人からの申し出、あるいはアンケート調査の結果もないということでしたので、今のところ甲斐市ではそういうことは無いと考えております。

ただ、これだけ大勢の子どもたちがおりますので、いじめが全くないということは難しい、どこの学校にも起きる、どの学級にもあるという認識で対応しています。

解消率も100%にはなっておりません。解消に向けて相互に努力しているというケースも見られます。

事務局

震災の避難者については、市内小中学校に6人在籍しています。それぞれいじめられたということもありません。中には転入してきた時が幼稚園でそのままこちらで生活していて、地元はこちらだという感覚の子どももいます。私が双葉中学校にいる時にも震災にあった子どもがいましたが、心にはいろいろな傷を持って暮らしているんだろうなと思いますけど、周りとのトラブルとか全く見られませんでした。

他の子どもたちよりいろいろなものを抱えているということがあると思いますので、各学級担任はそういうことも含めて支援をしています。

いじめにかかる重大事案は上がっていません。小さい問題に対して今も対応を続けています。

委員

国からも県からも市でもいじめの調査をしているということですが、主の原因というのは、学校内で起きているのか、情報機器がもとになって発生しているのか、そういう細かい調査は行われているのですか。

事務局

項目の中には入っています。

インターネットとか含めてSNSとか悪口を書かれたとか項目としては入っています。

委員

あとは、学校がどう認識して対応していくのかという問題になります。

対象者に一人ひとり場所を変えて時間差で事情を聞いて情報を得るなかで、意見、考え方の行き違いが出てくるような気がします。そうなったときにそれをきちんと整理するため、一同を集めて誤解を解いていくとかいろいろな方法がありますが、現場は非常に大変ですよ。そんな時にアドバイスができ聴取ができる第三者を学校に派遣できないでしょ

うか。早く解決しなければいけないことなので、学校がすぐに相談出来て、解決に向けて足並みを揃えていけるよう、能力、資質を持った人材を派遣できるような制度が必要かと思います。

委員

命に係わるというのは、中学とか高校とかになりますよね。

中学校においてはカウンセラーが中心になって校内で指導体制が出来ているはずですよ。

あと、生徒指導の関係は、中学校の方は空き時間があるので、話し合いが出来ますが、小学校は、全教科担当してますし、放課後に話し合いというとまた教員の多忙化という問題もあります。小学校にはあまりカウンセラーは行かないですよ。

事務局

そうですね。中学校の場合は、時間を設定してみんなで集まってということになりますが、小学校の場合は、時間内にはそういう時間がとれないということがあります。ただ、ずっと同じ子どもと一緒にいるので、子どもを見やすいというところがあります。

委員

小学校の子どもが怖いのは、担任の先生が主観的な対応はするけど、客観的な立場で見れないというところがあります。

ただ、甲斐市の場合は共有し一体化することについては非常にできていると私は思います。特別な支援を必要とする子どもに対しての組織もつくられています。他のところは学級担任に任されているようなところを、甲斐市の場合は学年であったり、特別委員会を作ったり、発展的なものが非常にできているとということを感じます。

委員

組織で対応していくということ、学校長以下、考えていると思いますがそれを推し進めていくということです。

もう一つは、訴えがあった場合は真摯に受け止める、その初歩体制を間違ってしまうと後で大きな問題になってしまうということです。

委員

人に任せない、学校としてそれに立ち向かう、解決に向けて足並みを揃えていくという姿勢が甲斐市の16校は非常にできているような気がします。今までのいろいろな事例の中から反省し課題を見つけて、解決に向けての方法を見つけてきて、そういう部分ができているかなど、構築されつつあるなと思います。

そういう意味で教師同士のコミュニケーションが非常に大切になります。

事務局

中学校の場合は、学級担任、教科担任、部活動の担当、学年の職員も、

一つの学年が甲斐市の場合は田舎の学校の一つくらいの規模になりますので、いろいろな面でみんな見ることができているのかなと思います。

教育長  
委員

保健室の役割も大きいですね。

学校としての機能がなされてきている、だから安心ではなくて、より素早く対応できて、適切なかたちで解決に向けられるのではないかと思います。組織づくりをあえてしなくてもすぐできるような体制になっていると思います。

事務局

学校にも子育て支援課から家庭相談員の資料が情報提供ということで毎月送られてきます。非常に件数が多いのですが、細かく見てくれて、相談に関わっていただいています。そういう情報を共有するため、学校、児童相談所、スクールカウンセラーなどいろいろな方が参加するケース会議の回数も非常に増えています。

SNSの問題は、トラブルの原因になるようなことは、以前にも教育委員会へ報告したとおりになかなか解決しない、みんなで知恵を出し合うのですが非常に難しい問題があります。小学校の段階から、早く外部機関と連携して怖さをしっかり知ることが必要だと思います。

委員

職員のことで少し気になっていたのですが、先日、夜8時過ぎに玉幡小の女性の先生方が学校から出てきました。「こんなに遅くまでいるのですか。特別な行事の前ですか。」と聞きましたら、「日常的です。」ということでした。長時間勤務が問題になっている中で、先生方の健康状態というのは甲斐市全体でどんな状況になっているのか把握していることがあったら教えてください。

事務局

今、休職をしている方が1名、短期の傷病休暇を取っている方が3名います。長時間勤務が原因というわけではなく、そこにはいろいろな要素が入っていますのでわかりませんが、勤務時間が長くなってしまっているということは県、国と同じような状況ではないかと思っています。6時台にはみなさん帰っているという学校もあったり、逆にもう少し遅くなってしまうという学校もあったりします。また、先生も朝型の人がいれば夜型の人という状況で、どうしても朝はできないので夜8時、9時までやっていく、逆に夜はできないので朝6時には来てやるとかいろいろなタイプの方がいらっしゃいます。ただ、帰りたいのだけど帰れない状況が無いように管理職は気をつけていただけたらと思います。

教育長

他に、ご意見、ご質問がありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

○閉 会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間

午前 11 時 5 分